



平成29年度内閣府男女共同参画週間キャッチフレーズ

「男でまる、女でまる、共同作業でまる。」

6月23～29日は
「男女共同参画週間」です。

男女共同参画社会とは、性別にかかわらず、自らの個性や能力をあらゆる分野で発揮できる社会です。

日本では、男女共同参画の実現に向け、平成11年6月23日に男女共同参画社会基本法が公布・施行されました。これを踏まえ、本法の目的・基本理念に関する理解を深めるため、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」としています。

大田区では、男女共同参画週間にちなんだ展示を実施します。ぜひご覧ください。

- 日時 6月26～29日(26日は午後1時から)
- 会場 区役所本庁舎 1階



女性に対する暴力をなくす運動
(パープルリボン運動)

「デートDV」をご存じですか？

配偶者や親密な関係にある、またはあった相手から振るわれる暴力のことを、ドメスティック・バイオレンス(DV)と呼んでおり、すでにご存じの方も多と思います。

こうした暴力は高校生や大学生などの、若い世代の交際相手間でも起きています。このことを特に「デートDV」と呼んでいます。

内閣府の「男女間における暴力に関する調査(平成26年度)」によると、交際相手から暴力の被害を受けたことがある人の割合は、女性で19.1%、男性でも10.1%という結果が出ています。決して他人事ではなく、身近に起こりうる問題といっても過言ではありません。

デートDVは、暴力であり、無意識のうちに被害者または加害者になる危険性があることを、普段から意識しておく必要があります。

デートDVの被害者または加害者にならないためにも、多くの若い世代がデートDVについて知っておくこと、また、周りの人が知らせることが大切なのです。

デートDVチェック 1つでもチェックがあれば、デートDVの関係にある可能性があります。

「デートDV(交際相手への暴力)」とは？

- 相手が言うことをきかないとイライラする。
- 相手の行く先、服装、することなどを、指示したいと思う。
- 相手がどんな人と話しているかが、気になって仕方がない。
- 腹が立つと物をたたいたり、大きな声を出したりする。
- 自分のことを好きなら、嫌なことでも応じるべきだと思う。

もしかして…「デートDV」じゃない??

- 「バカ」「何もできないやつ」などと、傷つく言い方をされる。
- 相手との用事を最優先にしないと不機嫌になる。
- 携帯電話・スマートフォンをチェックして「他の人のアドレスを消せ」と言われる。
- 相手を怖いと思うことがある。
- 「好きなら、いいだろう」と気が進まないことをさせようとする。

*チェックしてみて…心当たりがある方は「たんぼぼ相談」などに相談しましょう。(裏面参照)

エセナフォーラム2017

講演会

『フツウに幸せ♪』になるための方法論

～男には居場所 女には時間をもっと必要～

日々の暮らしの中で幸福感を得るために、私たちができることのヒントを学びます。

- 日時 7月8日(土) 午後1時30分～3時30分
- 講師 國學院大學経済学部教授 社会学者、詩人 水無田気流
- 定員 先着100名
- 申込方法 問合先へファクシミリかEメールで
①水無田気流講演会
②郵便番号、住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤電話番号
⑥保育(1歳以上の未就学児先着15名。1人600円)希望の方はお子さんの名前、年齢も明記。6月30日必着。
- 会場・問合先
エセナおおた 大森北4-16-4
☎3766-4586 ☎5764-0604
✉escena@escenaota.jp

